

平成26年10月17日(金)5校時 1年2組教室 みよし市立緑丘小学校 小林 是子

1 単元名 こうえんへいこう 「あきとふれあおう」

2 目標

- ・学区にある公園へ出かけ、秋の自然や生き物と諸感覚を使ってかかわり、楽しく遊ぼうとしている。
(関心・意欲・態度)
- ・落ち葉や木の実などの自然物や身近な材料を使って、遊ぶものや飾るものを工夫してつくり、楽しく遊ぶことを考えることができる。
(思考・表現)
- ・自然物を使って工夫して遊んでいる自分や友達のよさに気付くことができる。
(気づき)

3 指導の構え

本学級の子どもたちは、入学以来、比較的欠席が少なく、毎日元気に登校できる子が多い。どの教科の授業においても意欲的に取り組み、楽しみながら学習に取り組むことができる。生活科のような体験活動が中心の学習では、いろいろなことに興味をもち、「みつけたよカード」に観察したこと、思ったり感じたりしたことを意欲的に書き、みんなに発表することができる子も多い。しかし、何かをつくりたい、こうして遊びたいという願いを書く子は少ない。

本単元「こうえんへいこう」の導入として学区にある公園へ行き、「あきみつけ」を行ったが、その際に行った「みつけたよカード」にも、見つけたものを観察するだけで、それらを使って何かをしたいと書いた子はほとんどいなかった。しかし、子どもたちの話を聞いてみると、中には、拾ったどんぐりで工作をしたいという子がいたりした。そこで、そういう子どもたちの声を広げて、自然物を使った遊びの経験をもっとさせたいと考えた。

本単元では、まず、これまでに出かけてきた公園の中から自分のお気に入りの場所を見つけて、友達に紹介をする。さらに秋見つけをして見つけてきた落ち葉や木の実、草花などを使って、おもちゃやアクセサリ、人形など様々なものをつくる。その中で、自分たちで工夫しながら遊ぶことや、自分なりの秋の自然への思いを、好きな方法で表現し、友達とかかわって楽しむことをねらいとしている。

人とかかわりが希薄化している現在、よりよいコミュニケーションを通して情報の交換をし、互いの交流を豊かにすることが求められている。他の学級の1年生との交流を通して相手意識が生まれ、「分かりやすく伝えよう」「相手の気持ちを考えよう」といった気持ちが高まる。この活動のなかで成立した友達とのコミュニケーションは、子どもにとって大きな達成感や成就感につながるものであり、さらなる交流の動機づけにもなっていくことが期待できる。そこで、活動においてはまず、自分のお気に入りの場所を見つけて紹介するという経験をさせ、公園に対して愛着を持たせること。

次に、自然物を使って、遊んだりつくったりする活動を繰り返し経験することで、より楽しく遊ぶための工夫に目を向けさせ、子ども同士がかかわり合いながら楽しさを味わえる活動を展開したい。また、自分たちの周りには自然とたっぷり触れ合い、諸感覚を使って体全体で秋を感じとらせたい。友達とかかわりながら活動することで、友達と協力したり、友達のよい発見や表現を見つけたりして、よりよい人間関係を築く手助けとしたい。

本時では、これまでに出かけてきた公園の中から、自分のお気に入りの場所を見つけて友達に分かりやすく発表するという活動を行う。分かりやすくするためには理由を言ったり、絵をかいて伝えたりする必要がある。そして、友達のお気に入りの場所を聞きあうという活動も行う。友達の発表を聞くことにより、自分とは違う考えを知ることができ、新しい発見につながるであろう。発表中は、自分と比べながら聞くように支援したい。発表の仕方を工夫しているところや友達の発表をしっかりと聞こうとしているところを認め、子どもたちが個性を表現できるように声をかけたい。これらの活動を通して自分自身を表現したり、友達のよさを見つけたりすることができるようにしたい。また、秋ならではのよさをもった公園を見つけた子を認め、秋にどっぷりと浸れるような雰囲気も大切にしていきたい。

4 単元構想図（12時間完了）

こうえんへいこう（30）

- わたしのつうがくろ（6）
 - ・通学路の様子に関心を持ち、自分たちの安全を守ってくれている施設や人がいることに気づく。
 - ・身近な公園を利用し、友達とルールを守って仲良く遊ぶ。
- なつのこうえんへいこう（4）
 - ・公園を利用しているいろいろな人の存在に気づき、施設やルールを守って大切に使う。
- あきとふれあおう（12）
（下記の通り）
- ふゆとあそぼう（4）
- はるをさがそう（4）
 - ・身近な場所で、木や草、生き物の様子を調べ、春の訪れが感じられること
に気づく。

あきとふれあおう（12）

- あきがいっぱいだね（2）
 - ①自分の身の周りで、秋見つけをしよう。※1
 - ・木の葉の色が変わったよ。
 - ・トンボが飛んでいたよ。
 - ②秋に関係のある言葉で、ビンゴをしよう。
 - ・秋見つけで見つけた言葉を入れよう。
- どんないろ どんなおい どんなおと（4）
 - ①②秋の公園でおもいきり遊ぼう。※2
 - ・落ち葉がたくさん落ちているよ。
 - ・木の葉が真っ赤に紅葉しているよ。
 - ・風が気持ちいいよ。
 - ③④お気に入りの教え合おう。
 - ・みんなで秋の公園で遊んだことが楽しかったよ。※3
 - ・友達にも教えたいな。
- たのしいね あきのあそび（3）
 - ①②公園で木の葉や実を使って遊ぼう。※4
 - ・どんぐりがたくさんおちているよ。どんぐり拾いをしよう。
 - ・落ち葉がたくさんあるから、木の葉のシャワーができるよ。
 - ③木の葉や実を集めよう。
 - ・どんぐりがたくさん集まったから、なにができるかな。※5
 - ・木の枝を拾って、何かに使えるかな。
- きれいだね おもしろいね（3）
 - ①集めた葉や実で何ができるかな。※6
 - ・作りたいものの計画を立てよう。
 - ・必要なものは何か。
 - ②集めた葉や実でいろいろなおもちゃをつくろう。※7
 - ・どんぐりごまをつくりたいな。
 - ・まつぼっくりでけんだまをつくろう。
 - ③友達と遊べるおもちゃをつくろう。
 - ・よく回るどんぐりごまにしよう。
 - ・丈夫につくろう。

【教師の支援】

※1 諸感覚を使って自分の身近なところで秋を感じることをできるように助言をする。

※2 子どもと一緒に活動を楽しみ、子どもに共感した言葉がけをするようにする。

※3 友達と一緒に活動したことを振り返り、みんなで遊ぶことのよさが味わえるようにする。

※4 出かける前にどこにどんな木があるのかを下見で把握しておき、子どもたちに知らせられるようにする。

※5 いろいろな自然物を集めるように声をかける。

※6 集めてきたものを使って、つくりたい物をつくることできるように、参考資料を用意しておき、子どもたちが自由に見られるようにする。

※7 活動に必要な道具は、あらかじめ整えておき、使い方の資料も掲示して安全に作業ができるようにする。

5 本時の指導

(1) ねらい

- ・身のまわりの公園の中で秋を感じられるところを見つけ、自分のお気に入りの場所として発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。

(2) 準備 教師：学区の地図、画用紙、ふせん、マジックペン、

児童：前時までに書いた「みつけたよカード」、絵を描いた画用紙

(3) 活動過程

学 習 活 動	・教師の支援 ○評価
<p>1 同じグループで発表の練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>みんなに発表する前に、グループで練習しましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしのお気に入りの場所は、かいのき公園の遊具です。 ・わけを言っていないから、なぜ好きかを言った方がいいよ。 ・ぼくのお気に入りの場所は、ふながや公園です。見晴らしがいいから、遊んでいて気持ちがいいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のお気に入りの場所を自信をもって発表できるように声をかける。 ・工夫して発表しようとしているグループを紹介して、発表の参考となるようにする。 ・秋を感じられるようなものを理由にしている子を認めるようにする。
<p>2 自分のお気に入りの場所を紹介する。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お気に入りの場所を学級の友達に分かりやすく発表しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしのお気に入りの場所は、ひばりが丘公園の広場です。まつぼっくりの木があって楽しいからです。 ・ぼくは、どうのご公園がお気に入りです。広場が広くて、みんなでおにごっこをするのがおもしろいです。 ・わたしのお気に入りには、みどりがおか公園です。公園の真ん中にあるすべり台が大きくて楽しいから好きです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のお気に入りの場所が自信を持って言えるように、同じ公園を紹介する子ども同士がグループになるようにする。 ・工夫した発表ができている子や友達の発表をしっかりと聞いている子を褒め、紹介する活動が持続できるようにする。 <p>○A：自分のお気に入りの場所を理由をつけて紹介したり、友達の発表を自分と比べて聞いたりすることができる。</p> <p>B：自分のお気に入りの場所を発表することができる。 (活動の様子、発言)</p>
<p>3 本時を振り返り、感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の実がたくさん落ちているところがあるみたいだから、行ってみたい。 ・友達におしえてもらった公園が楽しそうだから、もう一度行ってみたい。 ・ぼくが発表したときに、みんなが一生懸命に聞いてくれて嬉しかった。 ・はやくみんなと遊びたい。 ・拾ったどんぐりやまつぼっくりで何かつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく多くの子どもに発表させることで、次の時間の活動への意欲を高める。

くってみたい。	
---------	--

(4) 評 価

- ・自分のお気に入りの場所を発表したり、友達の発表を聞いたりして、もう一度公園で遊びたいという意欲をもつことができたか。
 - ・友達の発表から秋を感じて、遊んだりなにかをつくったりしようという意欲をもつことができたか。
- (活動の様子、発言)